

一 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

京都大学の名物と言っていものに、立て看板、通称「立て看」というものがある。

おもに百万遍の交差点から、東大路通に沿ってずらりと並び、東一条の交差点からは大学正門に向かって、直角にその進路を変える。

立て看板というだけあって、大学の外周の石垣に、生け垣に看板が立てかけられている。サイズも小さなものから、大きなものまで、かたち、色合い、文言もさまざま。そこでアピールするのは、サークルの部員^a、勧誘、劇団の次回公演、政治集会の日程等々。有名どころから、果たして実在するのかどうか定かではないサークルまで、それらがてんで勝手に看板を並べ、百枚百様の主張を^b、オウ来の人々に向け野放図に撒き散らしていた。

それは見慣れた風景だった。

あまりにありふれた日常ゆえ、私が京大に在学していた九〇年代後半、東一条通の左右を埋め尽くす看板に対し、きれいだとか、汚いだとか、今さら考えることがなかった。ただ、アニメ同好会の立て看の隅に、高校で同じクラスだった男の名前が代表として書かれていたときはせつなかった。所詮、頭でっかち京大生の作るものなのでアートにはなり得ないし、政治的主張も完全に時代^c、錯^dなもので誰に訴えているのかわからない。それでも、下手くそな絵や字をこねくり回し、意味のわからないフレーズを書き殴る看板を眺めながら、

「ああ、アホが今日もアホしてる」

という^①無形の安心感を得られたものである。

しかし、それらはもはや失われた風景だ。

現在、京大の外周に立て看はない。きっかけは京都市が京大に送った通知だった。市の条例に基づき、京都の景観を保全するため「屋外広告物」に規制をかけている、つきましては京大の立て看板も「屋外広告物」に当たるので法令遵守をよろしく、という京都市の主張を、京大があつさり受け入れたのだ。結果、立て看はすべて撤去された。

六月頭に講演の仕事ついでに京大を訪れ、周辺を歩いてみたが、きれいさっぱり立て看は消えていた。今も突発的に立て看が置かれては即撤去の憂き目を見ているようだが、それはもはや^②花火大会のあと、退散する見物客に向かつて、市販の打ち上げ花火を発射し、無用に注目を引く行為に似ている。

京都に向かう前、私は立て看がなくなることを残念に思っていた。憤っていた。あれは日本で京大にしか残っていない文化であり、景観保全という目的だけで規制するのはいかにも根拠薄弱、京大周辺を浄化しないと国の補助金が下りない案件のために市が無理を言うてきたんじゃないか？という^d陰謀論すら組み立てていたのだが、実際に百万遍から正門まで歩いて抱いたのは、

「うむ。これはこれですつきりきれいでいいもんだな」

という身も蓋もない感想だった。たつた三分歩いただけで、以前の立て看のある風景を忘れてしまった。こんなものか、と（A）に呆氣に取られた。同時に、あれはもう戻らない風景なのだと悟った。

不思議な話であるが、京都で各方面の関係者に直接事情を聞いて感じたのは、この「立て看」案件に司令塔はないということだった。京都市すらも「何が何でも」という強い意思があつたわけではないようで、通知書を読んでも条例を盾にはしているが、「悪役にはなりたくない」という^③へつぱり腰が文面から滲み出ている。京大のほうも総長自身は立て看を容認する姿勢だったとも聞く。それでは、なぜ大学側がこつとも強引に、^e拙ソクとも言える動きで立て看を抹殺してしまったのか。真相はわからない。ただ、決断した大学関係者が共有する認識のなかに、

「今の学生に昔のようなエネルギーはない。押し切れる」

という醒めた見極めがあつたのではないか。

確かにここ数年、京大を訪れるたび、立て看から勢いが消えつつあるのを感じないわけではなかった。もはや時代にそぐわないという側面は確かにあつただろう。^④かつては触らぬ神に祟りなしの対象だったはずの立て看

から、神は去ったのだ。

代わりに、私は京大が⑤結界を失ったように思えてならない。やがて大学も、学生も、結果的に目指すことになる「普通の大学」になったとき、気づくのではないか。

たとえば、京都市内で京大生がアホをしても「京大ならしやあない」と見逃してもらえる生ぬるい庇護、京大観光に行った人が「何か怖くて中に入れなかった」と感じる言葉にならぬ畏怖、それらがいつの間にか目減りしていることを。結界の消滅とともに、「アホが今日もアホしてる」と無形の安心感を与えてくれた依代も立ち去ったことを。何より、今の社会がのどから手が出るほど欲しがっている若者の元気を、いとも容易く手放してしまったことを。

万城目学「さよなら立て看」による

問一 傍線部 a ～ e の熟語のカタカナの部分を示す漢字として最も適当なものをそれぞれ①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 a ① b ② c ③ d ④ e ⑤

- a ①友 ②誘 ③雄 ④優 b ①央 ②王 ③往 ④横 c ①誤 ②後 ③佐 ④語
d ①某 ②暴 ③乏 ④謀 e ①則 ②即 ③速 ④測

問二 傍線部①の「無形の安心感」はどのような気持ちから湧き起こるのか。次の①～④の中から最も適当なものを選んで記号で答えよ。 解答番号⑥

- ①前近代的な京大の学生運動を侮蔑しながらも懐かしむ気持ち。
②勉強そつちのけの京大生たちに呆れ、大学の将来を危ぶむ気持ち。
③自分の学生時代と重ねて京大生の情熱を信頼し、寛容になる気持ち。
④今の時代に日程を看板で知らせる京大のレトロを賞賛する気持ち

問三 傍線部②の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号⑦

- ①立て看板を撤去しろという市当局のお達しに抵抗をしていることを励ます気持ちになるということ。
②立て看板の時代は去ったのにいまだ時代遅れの事をしていると侮蔑する気持ちになるということ。
③日本で京大にしか残っていない立て看板の文化を最後の名残ととして惜しむ気持ちになるということ。
④立て看は時代遅れであり、置かれても即撤去されるので虚しくさびしい気持ちになるということ。

問四 (A) に入る言葉として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号⑧

- ①己の現実を受け入れる早さ ②清潔な町の心地よさ ③以前の看板群の懐かしさ ④京都市の権力の強さ

問五 傍線部③「へつぱり腰」になる理由として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号⑨

- ①「立て看」案件に司令塔はいないということにしておかないと京大生から個人攻撃をされるから。
②市の権力で看板を撤去させて、表現の自由に対する権力側の侵害などと苦情を言われるのがいやだから。
③京大総長自身が立て看を容認する姿勢を示したが、断固撤去させて京大周辺の景観を美しくしたいから。
④京大周辺を浄化しないと国の補助金が下りないことをそのまま大学に伝えることがはばかれるから。

問六 傍線部④の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号⑩

- ①看板に書かれた内容はプライドも節操もない乱雑さであった。
②看板が大変多い上に誰も片付ける者がいなくて困っていた。
③干渉を許さない、治外法権みたいな強い主体性を持っていた。
④昔は学生に旺盛なエネルギーがあり、無茶ばかりやっていた。

問七 傍線部⑤の文脈上の意味として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号⑪

- ①世間を威圧する権力や経済力。

- ② 俗世を離れた孤高の強さや気高さ。
- ③ 京大ならしやあないという諦念。
- ④ 京都市民からの寛大な庇護。

問八 筆者が残念に思っていることの内容として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 12

- ① 京大が京都市当局の意を忖度して立て看板を自主規制したこと。
- ② 京大の職員が京都市当局の言いなりになってしまったこと。
- ③ 京大の周辺から観光客を威圧する学生の罵声がなくなってしまったこと。
- ④ 京大生の情熱がなくなり、京大が俗なものになってしまったこと。

二 次の文章は、歌舞伎俳優の当代松本白鸚氏が松本幸四郎を名乗っていた頃に書かれた文章である。よく読んで後の問いに答えよ。

今年の盛夏に、母を失いました。まだ六十五歳でした。

父白鸚（先代幸四郎）が逝ったのは七年前の一月でしたから、季節は正反対ですが。

母は心底父のことが好きだったようで、父が亡くなったときに作った白羽二重の喪服が黄ばまないうちに、これを着て父の元へ行きたい、と、私の妹の麗子にもらしていたそうですから、^① 本人はこれで本望なのかもしれない。

役者の家というものは、一家で食卓を囲むといったような団欒の場はほとんどなく、私が子役で出ていたころは、父と樂屋で一緒に食事もしましたが、あとはすっかり生活の時間帯がかけ違って、親子が顔を合せることもないような暮らしが続きました。

けれども母は、いつでも父の時間に合せて生活しておりましたから、父が亡くなるとまったく自分の中の大半が崩れ去っていくような気持ちになったことも、わかる気がします。

母が亡くなったあとしばらくして、寝台の枕元のあたりを整理していましたが、書きさしのメモにこんな句がありました。

^② 一人居になれて若葉の風薫る

おそらくこれが最後の句でしょう。息子たちや娘は成人してそれぞれの暮らしがある。自分は好きな小唄に打ち込んで大勢のお弟子を取り、充実した毎日ではある。けれど……といった母の寂しさが伝わってきます。

母は今年、広めのマンションに居を移したばかりでした。お通夜もここで出来るように、という気持ちだったらしいのですが、その新居の窓から梢の若葉に風が薫るのを、じっと見おろしていたのでしょうか。

元気だったころの母のことを思い出すと、鏡台に向っていつも自分で長い髪を結び上げ、きちんとした着付で渋い着物を着、シワ一つないきつめの足袋をキエツと力をこめてはいていた姿が浮んできます。あまり口数の多くない人でした。

でも、芸のことには厳しくて、私や弟（二代目吉右衛門）の舞台を見ると必ず樂屋へ来て、せりふを言い、動いてみせて、具体的なタメ出しをするのでした。あんな^③ 目ききはなかなかないものです。

あの母がもし男に生れ、二代目吉右衛門を継いでいたら（母の父は初代吉右衛門）、父も、私も弟も（その場合、私と弟はどうなる？）、^④ まつ青、といったところでしょう。思えば、字も絵も小唄も俳句も弓も、美的センスや文学的な素養も、何についても母は才能にあふれていました。白状すると、私が今日まで役者として頑張ってきたのは、そうした母の才能に対する反発をバネにしてきたからです。

母が亡くなる前後、私は大阪で「ラ・マンチャの男」の舞台をつとめていました。毎日「見果てぬ夢」を歌いながら、母の見果てぬ夢とは、親父には悪いけれど、男に生れて役者にならなかったこと、ではなかったかと、しきりに思ったものでした。

ところが最近、関谷子著「おもちゃの三味線」の白鸚夫人聞書を読んで、母が六つか七つのころから十三年上

の父を思い続け、一人娘だったせいで大変な難関を乗り越えて父に嫁ぎ一途に父を見つめ通した生涯だった、と改めて知り、深い感銘を覚えました。

一家団欒というものが無い上に、あまり自分のことを語らなかつた母なので、ここで読んだことは七割がた知らなかつたことで、本当にびっくりのし通しでした。

とりわけ、東洋英和の女学生だった母が、イギリス人の先生にいただいたチョコレートを巡業先の父に送ったことがあつたとかで、その後五十年もの月日が流れ、父の亡くなる寸前の病床で、母が妹と足をさすりながら思い出すままにチョコレートの話を始めたら、眠っているとはかり思っていた父がボツリと「松江だったね」と言つた話。ジンと来ました。

そのときの静かな父の声や、^⑤母のこみ上げる喜びといったものが一瞬にしてわかつたからです。

目ききの母は、関容子さんの文章が好きで、指名して話を聞いていただいたそうですが、大袈裟に言えば、^⑥これは子供たちへの遺書なのかもしれません。

私はこれで、女としての母の素顔を知り、たまらなく母をいとおしいと思いましたし、また、これほどの純情にきちんと応えて逝つた父を、ますます敬愛する気持ちになりました。

母は^⑦やっぱり女に生れて幸せだったのかもしれない。

それにしても、本というものはすごいものだと思います。恋を失つた者が純愛物語を読んだとき、ひときわ熱く胸迫るものがあるように、親を失つた今、これほど多くの母の言葉にいちどきに接して、一つ一つが深く心にしみ入り、何だかぼんやりしてしまつております。

松本幸四郎「母の言葉」による

問一 傍線部①「これで」の意味として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 13

- ①白羽二重の喪服が有つて ②季節は正反対だけれど ③まだ六十五歳なのに ④生活時間帯が違つけれど

問二 傍線部②の俳句の季節として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 14

- ①春 ②夏 ③秋 ④冬

問三 傍線部③の文脈上の意味として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 15

- ①人気に左右されて芸の真価がわからない人。
②芸事に精通している熱狂的な歌舞伎ファン。
③芸の善し悪しを厳しく見極めることのできる人。
④経験を積み人生のなんたるかを悟っている人。

問四 傍線部④の文脈上の意味として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 16

- ①私も弟も生まれなかつたと思うとぞつとする。
②具体的なダメ出しをするので迷惑なことだ。
③親不孝ばかりしていて親に合わせる顔がない。
④比較して明確に劣るので面目丸つぶれである。

問五 傍線部⑤の「喜び」の内容として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 17

- ①母のひたむきな愛情に対して父が純情にきちんと応え続けていたこと。
②女学生だった母が、英国人の先生に貴重なチョコレートを貰つたこと。
③母が幼い頃から十三歳も年上の父をひたすら思い続けて結婚したこと。
④五十年前の愛のプレゼントの話が瀕死の夫の意識を呼び覚ましたこと。

問六 傍線部⑥が指すものとして最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 18

- ①母が父にチョコレートを贈つた話。
②「おもちゃの三味線」の白鸚夫人問書。

- ③父と幼い時の母との純愛物語。
④「一人居になれて若葉の風薫る」の句。

問七 傍線部⑦の「やっぱり」とは何を受けているか。次の①～④の中から最も適当なものを選んで記号で答えよ。

解答番号 19

- ①男に生まれていたら女優と言われる役者になったかもしれないが、
②あまり自分のことを語らなかつた忍耐強い母ではあるけれども、
③一家で食卓を囲むといったような団欒の場はほとんどなかったが、
④父に嫁ぎ父を見つめ父に虐げられた暗い生涯だったけれども、

三 次のA～Eの言葉の使い方として最も適当なものを次の①～④の中からそれぞれ選んで記号で答えよ。

解答番号 A 20 B 21 C 22 D 23 E 24

- A 未曾有 みそいう
①赤ん坊のあまりのかわいさに思わず未曾有をしてしまった。
②初日の出を拝んで例年通り心から未曾有な気持ちになった。
③去年の未曾有の大水害からまだ立ち直っていない人もいる。
④誰もが知るこの歌は未曾有の以前に大流行した歌である。
- B まんじりともしない
①よかれと思ってしたことが相手にはまんじりともしない。
②まんじりともしない態度におとなしい彼も怒った。
③合否の結果発表をまんじりともしないで待っていた。
④しっかり練習したのでまんじりともしない結果が出た。
- C よんどころない
①約束したのによんどころないことが起こって果たせなかった。
②よんどころない人々が今日もまた満員電車で出勤する。
③国宝となっているこの仏像はなんと言ってもよんどころない。
④ボーカルグループの歌の巧拙はどこもよんどころない。
- D しがらみ
①二つのチームのしがらみの優劣が勝負の見所である。
②見ず知らずの人のしがらみのせいで故郷を後にした。
③深い森の中の緑が青空のしがらみとなって美しい。
④世間のしがらみのために青年の夢は達成されなかった。
- E 陳腐 ちんぷ
①陳腐な歌詞とメロディなのに大ヒット曲になった。
②友達が陳腐をくれなかつたらいまの自分はない。
③傲慢な態度ではなくもつと自分に陳腐になつてほしい。
④健康のために辛すぎる食べ物は陳腐しないようにしよう。

四 次のA～Fの熟語の対義語として最も適当なものを次の①～③の中からそれぞれ選んで記号で答えよ。

解答番号 A 25 B 26 C 27 D 28 E 29 F 30

A 演繹 B 栄転 C 貫徹 D 謙虚 E 粗野 F 老練

- ①挫折 ②真摯 ③反転 ④高慢 ⑤一徹 ⑥優雅 ⑦幼稚 ⑧左遷 ⑨帰納

五 次のA～Jを四字熟語として完成するには□の中にどの漢字を入れたらよいか。それぞれ①～④から選ん

で記号で答えよ。

解答番号 A [31] B [32] C [33] D [34] E [35] F [36] G [37] H [38] I [39] J [40] -6-

A 和□謫々 柔らかで穏やかな気分がいつばいに満ちている様子。

①風②氣③洋④仁

B 優□不斷 ぐずぐずして、決断できない様子。

①劣②秀③断④柔

C 傍□無人 他人を無視して勝手にふるまうこと。

①友②道③人④若

D 不俱載□ 必ず倒すべき仇敵。

①道②天③地④人

E 内柔外□ 気が弱いのに外面は強く見せる意。

①固②堅③剛④激

F 直情□行 ひとむきに行動し気がねしない意。

①怪②直③即④速

G 支□滅裂 ちりちりばらばら、めちやくちやの意。

①散②分③離④岐

H 月下□人 男女の縁を取りもつ人。仲人。

①氷②光③輝④結

I □羅万象 世の形あるすべての物の意。

①全②千③世④森

J 危機一□ きわめてあぶなくさし迫った状態。

①禿②髮③迫④拍

六 次の外来語の意味として最も適当なものを次の①～⑨の中からそれぞれ選んで記号で答えよ。

解答番号 A [41] B [42] C [43] D [44] E [45] F [46] G [47]

A ジェンダー

B グローバル

C パラドックス

D アイロニー

E コンテキスト

F ステレオタイプ

G アイデンティティ

① 地球規模の

② 社会的性差

③ 皮肉

④ 逆説

⑤ 紋切り型・固定観念

⑥ 現象の背景・文脈

⑦ 安全性

⑧ 自己同一性

⑨ 地域限定の

七 次の大正時代の文学作品の作者として最も適当なものを次の①～⑧の中からそれぞれ選んで記号で答えよ。

解答番号 A [48] B [49] C [50] D [51] E [52] F [53] G [54] H [55]

A こころ

B 春と修羅

C 父帰る

D 地獄変

E 道程

F 幽閉 (のち「山椒魚」に改題)

G 生れ出づる悩み

H 伊豆の踊子

① 川端康成

② 菊池寛

③ 高村光太郎

④ 有島武郎

⑤ 井伏鱒二

⑥ 宮沢賢治

⑦ 芥川龍之介

⑧ 夏目漱石